

担当教員 三尾 稔				
開始時期 後期	開講期間 半期	科目番号 20DRSb05	授業形態 講義	単位 2
キーワード 宗教、ヒンドゥー教、オリエンタリズム、ナショナリズム		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 南アジア文化研究				
科目名称：英語 Lecture (South Asian Studies)				
科目の概要：日本語 インドのナショナリズムと宗教				
科目の概要：英語 Religion and Nationalism in India				
科目の目的： 地域文化学専攻の授業の一環として、南アジア地域の文化に関する専門的な研究の素養を身につけることを目的とする。				
学習成果・習得する技能や知識： 近代以降の南アジアの宗教文化がそのときどきの政治や社会状況とどのように関わりあいながら変容を遂げ、また現在も変容しつつあるのかについて専門的な知識を得ることが出来る。これを通じ、植民地支配と文化表象、ナショナリズムと文化変容などに関する理論のより一般的な理解も深まる。				
成績評価方法・基準： 授業への出席状況と後期の前後半各 1 回提出するレポートによる。授業への出席状況 40%、レポート内容各 30%。レポートは、問題設定がその背景にも触れつつ適切に行われているか、その問題についての先行研究を適切にレビューできているか、問題に対して授業内容も踏まえつつどのような新たな知見や解釈を加えて結論を導いているか、という観点から評価を行う。				
授業内容： 以下のようなテーマに触れつつ講義を進めてゆく。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 植民地時代以前のインドの「宗教」 2. 植民地支配とインド社会－「カースト」と「宗教」の創造－ 3. ミッションとインドの宗教 4. 独立運動と宗教アイデンティティ 5. インド・パキスタンの分離独立と宗教 6. インド的セキュラリズムと宗教－ネルー時代の政治と宗教 7. 宗教ナショナリズムの再興と隆盛 				

8. イデオロギーと宗教実践－聖者廟と都市祭礼

日程：

火曜日 10：30～12：00。第一回は10月4日。

実施場所：

国立民族学博物館4階4138室（大学院演習室）

使用言語：

日本語

準備学習：

各回の講義で主要参考文献を示すので、レポート作成時までに文献を読み、レポートの内容に反映させること。

関連科目・履修条件：

特になし。

教科書・必読書：

特になし。

参考書・その他の教材：

参考文献は必要に応じて講義の中で紹介するが、講義を受ける前に、下記の参考文献を一読しておくことをおすすめする。

小谷汪之 『ラーム神話と牝牛 ヒンドゥー復古主義とイスラーム』 平凡社 1993 年

van der Veer, Peter. *Religious Nationalism: Hindus and Muslims in India*. University of California Press. 1994

備考：日本語

地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可